新潟リハビリテーション大学データサイエンスセンター

教育プログラム「基礎ゼミⅢ」における地域産業に関するデータ活用に対する

アンケートの実施報告

(2024年度)

新潟リハビリテーション大学 データサイエンスセンター

目的

教育プログラム「基礎ゼミⅢ」において地域産業に関するデータを活用し、データサイエンス教育を実践した(資料 1). 本アンケートは本活動の改善・進化サイクルを機能させるために実施した.

方法

データを提供いただいた地域産業に従事する方を対象として,データ活用の結果について評価および意見提供のアンケートを実施した.下記の地域産業に従事する方にアンケートを実施した.

- ・むらかみ病児保育センター
- ・あらかわ病児保育センター

アンケートはアンケート用紙(資料 2) により実施し、回収したアンケート用紙はデータサイエンスセンターが保管し、回答内容を整理した。

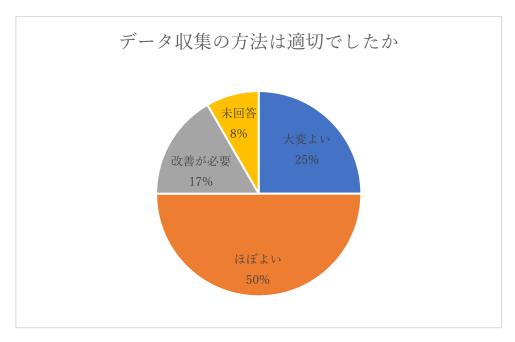
結果

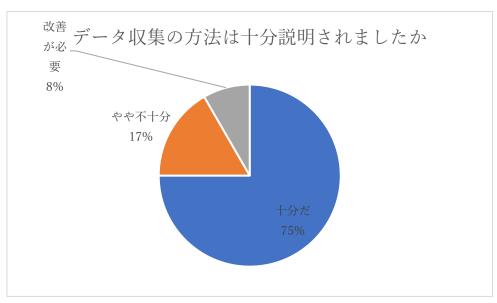
のべ12個の回答を得た、結果を図表に示す。

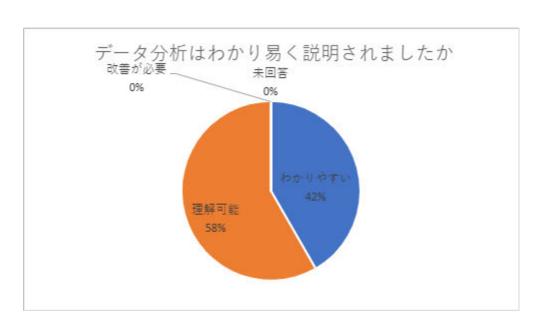
表 1. アンケートの選択肢の回答の内訳

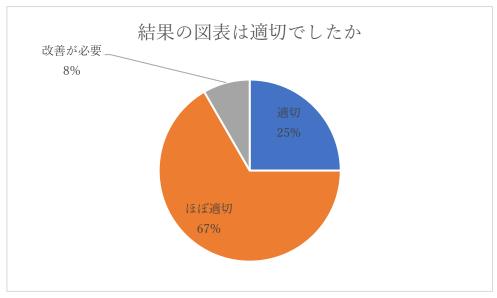
				スマートフォン	合計
			質がどう変わる		
			のか	ユニケーショ	
				ン・スキル尺度	
		- total		の関係	
		回答数	6	6	
1	デー	- タ収集の方法は適切でしたか			
	1	大変よい	1	2	3
	2	ほぼよい	3	3	6
	3	改善が必要	2	0	2
		未回答		1	1
2	デー	データ収集の方法は十分説明されましたか			
	1	十分だ	4	5	9
	2	やや不十分	1	1	2
	3	改善が必要	1	0	1
3	デー	データ分析はわかり易く説明されましたか			
	1	わかりやすい	2	3	5
	2	理解可能	4	3	7
	3	改善が必要	0	0	0
		未回答			0
4	結果	の図表は適切でしたか			
	1	適切	2	1	3
	2	ほぼ適切	3	5	8
	3	改善が必要	1	0	1
5	結果	 結果はわかり易く説明されましたか			
	1	大変よい	1	1	2
	2	理解できた	5	4	9
	3	改善が必要	0	1	1
6	結果	告果の解釈は理解できましたか 			
	1	よくできた	1	1	2
	2	ほぼできた	4	4	8

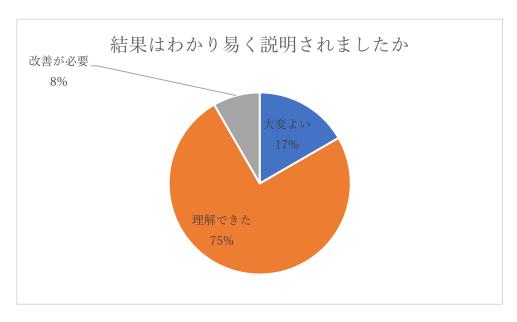
	3	できなかった	1	1	2
7	この発表を見て、参加した学生は基礎ゼミナールの目標のうち①データ収集と分析				
	技能の修得、②発表技能の修得の目標を達成ができたと思いますか。				
	1	達成できた	0	3	3
	2	ほぼ達成できた	4	1	5
	3	達成できなかった	1	0	1
		未回答	1	2	3













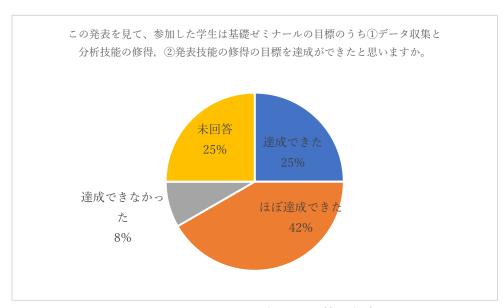


図1. アンケートの選択肢の回答の割合

表 1. アンケートの自由記載欄の回答

睡眠前の行動で質がどう変わるのか	スマートフォン依存尺度とコミュニケーシ
正成的ショカで乗べてラグルのシャ	ョン・スキル尺度の関係
被験者の介入条件が統一されていない。調	全体的によくできていると思いますが、も
査前の睡眠時間などの事前調査を行ってい	う少し図が取り入れられているとわかりや
ない等。(一部抜粋)	すいと思いました。
方法の人数が違っています。データ収集は	スマートフォンが身近な現代において、と
もう少し改善が必要かと思います。	ても興味深い発表でした。簡潔にまとめら
	れていて、資料も分かりやすかったです。
図が分かりやすく良かった。	調査の対象人数が多いのは良いと思いまし
	た。考察されている内容を進めた検証にも
	興味があります。
	明らかになったことを考察の中でもっと分
と思う所があり、面白いテーマだと思いま	かりやすく説明されていたらもっとよかっ
した。条件を統一しての検証を行うことで	たと感じました。研究テーマとしては興味
結果に変化が生じるか興味を持ちました。	部会テーマでした。
(一部抜粋)	
検証期間が 1 週間と短い中で日中の眠気に	
変化があったとのこと。一ヶ月後、半年後	
の対比はどのようになるのか興味がありま	
寸。	
 睡眠障害の改善に向けた大変意義のある研	
究であり、すばらいと思います。睡眠前の	
適度のストレッチの睡眠における効果はす	
でに一般的にもいわれていることではあり	
ますが、今回の研究でさらに明らかにでき	
たことは良かったと思います。(一部抜粋)	
/こことは以がりにこ心でより。(即級件/	

以上